



伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様		報告者	議員名 赤堀 久実
研修会名	第11回 2019年度日本創造学会 研究大会		
日時	令和 元年 5月 9日 13時00分 ~ 5月 10日 15時25分		
場所	明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール		
【研修の成果】			
《真の「地方創生」と地方自治》早稲田大学大学院教授 片山 善博氏			
○「地方創生」とは何か—国のこれまでの地方政策を振り返る			
・過疎地域優遇政策、補助を受け続けるには人口減少し続けられないことになる。			
・地域が考えないといけないのに地域に考えさせないようにしている。			
・公共事業、国から進められ自治体も一緒になって工事しすぎた結果、借金膨らむ⇒議会がストップをかけるチェックする。決定権のある議会は住民の声を直接聞いて決める。			
《地方はチャンス～1粒 1000円ライチの奇跡～》			
(財)こゆ地域づくり推進機構代表理事 齋藤 潤一氏			
シリコンバレー流の地域づくり①発見(顧客の声を徹底的に聞く共通の課題を発見する)⇒②磨く(ワークショップで現実可能なビジネスプランを構築する)⇒③発信(テスト販売でお金を稼ぐ。結果を分析する)役場と財団の役割を分担して事業を推進。役場で出来ないことを財団でする。役場(場づくり、役場というブランドお墨付き、制度の活用)財団(人材育成。事業支援)役場と財団それぞれの強みを生かし一緒に考える⇒[結果]1粒 1000円のライチを開発。全国から視察訪問するようになる。稼いだお金を人材育成に投資。なんでもいい、その地域の特産や個性を生かした取組みをしていく。			
《地域循環共生圏の実現—日本発の脱炭素化・SDGs構想—》総合環境政策統括官 中井氏			
人類が豊かに生存し続けるための基盤となる地球環境は、限界に達している面もある為、2015年国連持続可能な開発サミットにて「持続可能な開発目標 SDGs」が採択。第五次環境基本計画[目指すべき社会の姿]1. 地域循環共生圏の創造。2. 世界の範となる日本の確立 3. これらを通じた持続可能な循環共生型の社会の実現。○地域の特性、地域資源の性質に応じて最適な規模で地域資源が循環する。地域のポテンシャルを持っているのを伸ばしていき誰も取り残さない社会。○再生可能エネルギーによる地域活性化(木質バイオマス活用)○地域の自然資源による地域活性化(自然観光資源の活用)○地域の資源循環による地域活性化(再資源化の取組)			
【まとめ】今回の講演を通じて学んだことは、地域のよいところは必ずあってマイナスと思われることを発想の転換によりプラスにもなること。それをどう官民一体となって考えていくか。そして地域の方々も巻き込んで一緒になって作り出していくかが大事だと思いました。			
費用	旅費：43,640円 研修参加費：15,000円 合計：58,640円		

旅 程 明 細 書

No.

旅行者	所属	伊賀市議会	氏名	赤堀 久実
用務名(目的・場所)	5月9日 第11回日本自治創造学会研究大会(東京都千代田区:明治大学アカデミーコモン棟3階)			
	5月10日 第11回日本自治創造学会研究大会(東京都千代田区:明治大学アカデミーコモン棟3階)			
用務従事期間 (時間)	従事 月日	5月 9日	従事 時間	13:00 ~ 17:30
		5月 10日		9:30 ~ 15:25
		月 日		~

出張 月日	出発地 (出発箇所)	交通 用具	到着地 (到着箇所)	鉄道賃・船賃・航空賃・車賃			小 計	日 当	宿泊料	夕食代	朝食代	
				路程	運 賃	急行料金						
				km	円	円	円	円	円	円	円	
5月9日	伊賀神戸	近鉄	近鉄名古屋	112.2	1,560	1,320	2,880					
	名古屋	JR新幹線	東京	366.0	6,260	4,830	11,090					
	東京	JR	御茶ノ水	2.6	↓		0	1,500	11,000	1,700	込	
5月10日	御茶ノ水	JR	東京	2.6	6,260		6,260					
	東京	JR新幹線	名古屋	366.0	↓	4,830	4,830					
	近鉄名古屋	近鉄	伊賀神戸	112.2	1,560	1,320	2,880	1,500				
計							円 27,940	円 3,000	円 11,000	円 1,700	円	
							合計	43,640				



領収書等添付用紙	議員名	赤堀久実
----------	-----	------

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)

領収書 中谷一彦 様
 赤堀久実 様
 Receipt
 領収年月日 2019. 4. 19
 金額 ￥44,360 (消費税等込み)
 上記金額確かに領収いたしました
 購入商品 JR乗車券類 JR tickets
 (40193 4枚)
 西日本旅客鉄道株式会社
 伊賀上野駅
 伊賀上野駅F1発行 50194-01
 印紙税申告納
 付につき大淀
 税務署承認済

名古屋駅～東京駅(往復)
 運賃 6,260円
 指定席 4,830円
 11,090円×2名×2回
 (中谷議員、赤堀議員)

領収書 中谷一彦 No.20822512
 赤堀久実 様
 Receipt
 領収年月日 2019. 4. 19
 金額 ￥5,760-
 上記金額確かに領収いたしました
 購入商品 乗車券等
 Tickets
 近畿日本鉄道株式会社
 19- 4-19 12:03:36 伊賀神戸208
 印紙税申告納
 付につき天王寺
 税務署承認済

伊賀神戸駅→近鉄名古屋駅
 運賃 1,560円×2名
 特急券 1,320円×2名
 (中谷議員、赤堀議員)

領収書 中谷一彦 No.20822511
 赤堀久実 様
 Receipt
 領収年月日 2019. 4. 19
 金額 ￥5,760-
 上記金額確かに領収いたしました
 購入商品 乗車券等
 Tickets
 近畿日本鉄道株式会社
 19- 4-19 12:03:07 伊賀神戸208
 印紙税申告納
 付につき天王寺
 税務署承認済

近鉄名古屋駅→伊賀神戸駅
 運賃 1,560円×2名
 特急券 1,320円×2名
 (中谷議員、赤堀議員)

領収証原本は中谷議員の領収証に添付

領収書等添付用紙	議員名	赤堀久実
調査研究費・ 研修費 ・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)		

領 収 証 赤堀久実 様 No. 211

★ ¥11,000-
但 御宿泊代として(東京都消通税 ¥100/食込)
2019年 5月 9日 上記正に領収いたしました

取 入 印 紙	内 訳
	税抜金額
	消費税額等(%)

フォームNo. 11899

お茶の水ホテル昇龍館
〒101-0032 東京都千代田区神田小川町3-24
TEL: 03-3293-3001 FAX: 03-3293-3005

領 収 書		No. <u>154</u>
<u>赤堀久実</u> 殿		令和 <u>1.5.9</u> 平成 年 月 日
<u>¥15,000</u>		
但し <u>日本自治創造学会研究大会 参加費(資料代含む) (2019.5.9~5.10)</u> 上記の金額を領収いたしました		
一般財団法人 <u>日本自治創造学会</u> 理事長 穂坂邦夫 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-24 鈴漣ビル301号 TEL 03(5846)9227・FAX 03(5846)9228		

第11回 2019年度 日本自治創造学会 研究大会

新時代到来!

～地方はどう生き残るか～

プログラム・大会資料

開催日 令和元年5月 9日(木) 13:00～17:30
10日(金) 9:30～15:25

主催 一般財団法人 日本自治創造学会

第11回日本自治創造学会

研究大会 プログラム

■ 第1日目 5月9日(木)

12:00	開場・受付
13:00～13:10	大会挨拶 穂坂 邦夫 ((財)日本自治創造学会理事長)
13:10～13:40	講演 自立へのシナリオを語る 穂坂 邦夫 (日本自治創造学会理事長・地方自立政策研究所理事長)
13:40～14:30	講演 真の地方創生と地方自治 片山 善博 (早稲田大学公共経営大学院教授・元総務大臣)
14:30～14:45	質疑
14:45～15:00	休憩
15:00～16:30	事例発表 「地域ビジネスを成功させる知恵と実践」 竹井 智宏 ((株)MAKOTO代表取締役) 「地方はチャンス～1粒1000円のライチの奇跡～」 齋藤 潤一 ((財)こゆ地域づくり推進機構代表理事) 「外国人対策」 谷畑 英吾 (湖南市長)
16:30～16:40	質疑
16:40～16:50	休憩
16:50～17:30	講演 少子高齢化を乗り切る取り組み ～ゆでガエルにならないために～ 齋藤 健 (前農林水産大臣・衆議院議員)
17:40～20:00	改革発表会兼交流会 ～改革大発信・ベスト1の選出・親睦・交流～

■ 第2日目 5月10日(金)

9:30～10:00	講演 SDGsと地域循環共生圏 中井 徳太郎 (環境省総合環境政策統括官)
10:00～10:10	質疑
10:10～10:20	休憩
10:20～10:50	講演 日本の課題と可能性 村上 由美子 (OECD東京センター所長)
10:50～11:00	質疑
11:00～11:30	講演 スポーツが持つ力と地域活性化 藤江 陽子 (スポーツ庁審議官)
11:30～11:40	質疑
11:40～13:00	昼 食 [12:35～(財)日本自治創造学会総会]
13:00～13:40	講演 日本が売られる～自治体は最後の砦～ 堤 未果 (国際ジャーナリスト)
13:40～15:20	パネルディスカッション 新時代到来!～地方はどう生き残るか～ 問題提起 金井 利之 (東京大学大学院法学政治学研究科教授) パネリスト 牛山 久仁彦 (明治大学政治経済学部教授) 土居 文朗 (慶應義塾大学経済学部教授) 山下 祐介 (首都大学東京人文科学研究科教授) コーディネーター 穂坂 邦夫 (NPO法人地方自立政策研究所理事長)
15:20～15:25	閉会挨拶 牛山 久仁彦 ((財)日本自治創造学会理事・明治大学教授)

事例発表

地方はチャンス
～1粒1000円のライチの奇跡～

齋藤 潤一

((財)こゆ地域づくり推進機構代表理事)

若い人が出ていってほけ。人口減少が避けられない。真の「地方創生」と地方自治
(プレミアム商品券) 成果出ない。

早稲田大学大学院教授 片山善博

○「地方創生」とは何か-国のこれまでの地方政策を振り返る

- ・ 地域が考えずして国が地域に考えさせるようにしている。
- 地域優遇政策、補助金を受け取るためには人口を減少しなくてはならないことには注意。
- それはあかしい。どうして人口を減らしていかなくてはならないような政策ではなし。
- 合併にしても、地域のことを考えずに、どうして合併によって特創債をばいやる?
- 借金作りで、公共事業、国から、進められ、自治体も一掃して、事にはまき、借金が増える。

○自治体戦略 2040 構想研究会の報告書をどう読むか

↓
国は自治体と同じように大まかにしていい。そのほか、議会がストップをかける。手をつける。
交付税をくばり、制度に合わせる。圏域で動くように。国の流れに合わせて、住民と共に考え、自立を促す。自立を促す主体として、良くしていくために、自分で考えていく。国や県から変わらざる時代は近い。

○地域の「自治力」を点検する

○地域本位に考える力と「免疫力」

○真の「地方創生」と地方議会への期待

- ・ 質問は、だれにも聞ける。議会は決めること、決定権がある。色々な意見について決める。
- ・ 住民の意見を役所を通じて聞くのはダメ。本人に直接聞く。(住民)

参考文献

- 片山善博『民主主義を立て直す』岩波書店、2015年
- 片山善博『片山善博の自治体自立塾』日本経済新聞出版社、2015年
- 片山善博、糸賀雅児『地方自治と図書館』勁草書房、2017年



伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様	報告者	議員名 赤堀 久実
-----------	-----	-----------

研修会名	第3回市町村議会議員特別セミナー
------	------------------

日時	令和 2年 1月27日 13時00分 ~ 1月28日 12時30分
----	-----------------------------------

場所	全国市町村国際文化研修所
----	--------------

【研修の成果】【社会福祉と財政システム】京都大学大学院教授 諸富 徹氏
 日本財政の現状・・・「歳出」は伸び続け「歳入」は減ってきている。社会保障関係費は毎年1兆円ずつ増えている。特例公債(赤字公債)でまかなっている。
 「社会保険方式」か「税方式」か・・・国民年金保険料の納付率は1991年85.7%⇒現在65%まで低下厳しい状況。解決策として税方式への転換を過去に何度も提案された(スウェーデン等)
 ・税ならば強制的に徴収されるので保険料の未納付による無保険、無年金問題が解消される
 《課題》・給付を支える為、大規模な増税が必要になる・これまで社会保険料を納めた人とそうでない人との公平性を担保する必要がある・低所得者の所得捕捉の問題
 【超高齢社会の現状と地域包括ケアによるまちづくり】東京大学特任教授 辻 哲夫氏
 《高齢者介護施策の現状と課題》H18年介護保険制度の見直しを実施
 ・高齢者数の増加⇒「予防」を重視したサービス・認知症の増加⇒認知症に対応したサービス
 ・高齢世帯の増加⇒単身高齢者に対応したサービス
 今後の医療介護政策の方向 =地域包括ケアというまちづくりがベースに 1.生活習慣病予防及び介護予防(フレイル)が基本的に重要 2.虚弱期のケアシステムの確立 3.医療政策と地域包括ケア
 【児童福祉の現状と課題】関西大学教授 山縣 文治氏
 少子化対策において重要な視点①数十年先の人口状況(減少)を視野に入れた社会づくり②女性が地方で子どもを産み育てたいという社会づくり③計画性のない地方の少子化対策は衰退を招く【子育て支援と地域社会】子育て支援活動やネットワークづくりは虐待予防にも有効
 【障がい者の就労と暮らしの支援について】東近江地域働き・暮らし応援センター長 野々村氏
 16年前から障がい者の方だけでなくひきこもりの方の就労支援もしていた⇒企業64社回る『働』・・・『人』の思いが『重』なって 大きな大きな『力』になる。
 [チーム困救]時代の流れと共に地域の「困りごと」は見えづらく、そしていつの間にかそれは「諦めごと」になり始めている。私たち「働きもん」はそんな地域の困りごとを救うチームである⇒草刈り、工場のネジしめ、企業の営業前の清掃など委託される
 ☆何の障がいがあるかは最後、その前に人として何の職業をしたくてなぜそれをしたいのか。その人にあった仕事。趣味や興味があることからマッチングする。
 【まとめ】多岐にわたる内容ですが、伊賀市にとっても重要課題ですので勉強になりました。

費用	旅費: 449 円 研修参加費: 6,650 円 合計: 7,099 円
----	--------------------------------------

旅程明細書

No.

旅行者	所属	伊賀市議会		氏名	赤堀 久実	
用務名(目的・場所)	第3回 市町村議会議員特別セミナー					
	(滋賀県大津市:全国市町村国際文化研修所)					
用務従事期間 (時間)	従事 月日	1月 27日		従事 時間	11:00 ~ 16:35	
		1月 28日			9:00 ~ 12:30	
		月 日			~	

出張 月日	出発地 (出発箇所)	交通 用具	到着地 (到着箇所)	鉄道賃・船賃・航空賃・車賃			小計	宿泊料	昼食代	夕食代	朝食代	
				路程	運賃	急行料金						
1月27日	自宅	自家用車	全国市町村国際文化研修所	km 61.4	円 449	円	円 449	円 参加費に 込	円 参加費に 込	円	円	
1月28日	全国市町村国際文化研修所	自家用車	自宅	61.4						円 参加費に 込	円 参加費に 込	
計							円 449	円	円	円	円	
							合計	449 円				

※ 研修参加費に昼食代も含まれる為、日当は請求しない。

領収書等添付用紙

議員名

赤堀久実

調査研究費・**研修費**・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

百五キャッシュサービスご利用明細票

いつもご利用いただきありがとうございます。
このご利用明細票は必ずお持ち帰りいただきますように
お願い申し上げます。

取 扱 日	取 扱 店	機 番	取 引 通 番
2- 1-20 I	400	66	709
銀行番号	支店番号	口座番号	通 幣
0155	0400	*****	円
お取引内容		お取引金額 円	
振 込		6,650	
お取扱できないとき		お取引後残高 円	
お取引時刻		ご利用手数料 円	
11:12		330	
お振込明細またはご案内			
滋賀銀行 唐崎支店 普通 サイ)セ ンコクシチヨウソケンシユウサ イ ン 様 イカシギ カイ アカホリ クミ 様 お電話 0595-51-4810 照会番号 * 000-10064			

印紙税申告納

付につき律

百五銀行

税務署承認済

研修参加費 6,650円

令和2年1月14日

伊賀市議会議員 様

議員名

(自家用車提供者) 赤堀 久実

政務活動費自家用車使用届 (車賃計算書)

下記のとおり、調査研究等のため自家用車を使用しますので届け出ます。

調査年月日	令和2年1月27日(月)～1月28日(火)		
目的地 (調査研究等場所)	全国市町村国際文化研修所		
調査研究等の内容	第3回市町村議会議員特別セミナー		
自家用車使用経路	出発地	自宅	
	到着地	滋賀県大津市	
自家用車を使用する理由	所要時間が短縮でき、効率的かつ経済的である。		
同乗者			
自家用車の車種	トヨタ プリウス	高速・有料 道路利用	有・ <input type="checkbox"/> 無
型式	DAA-ZVW51	有料駐車場 利用	有・ <input type="checkbox"/> 無

以下、事務局記入欄

自家用車使用経路 (出発地～到着地)	走行距離 (km)	燃費値 (km/L)	自動車燃料 単価(円)	ガソリン代 (円)
	A	B	C	$A \div B \times C$
自宅(希望ヶ丘東)～全国市 町村国際文化研修所(往復)	122	37.2	137	449
～				
～				
合計				449 円

(算出根拠)

※走行距離は、ルート検索ソフト等の地図上で計測する。(km未満は切り捨て)

※燃費値は、国土交通省が公開する「自動車の燃費性能に関する公表」による。

※自動車燃料単価は、出発日の属する月の市の契約単価による。

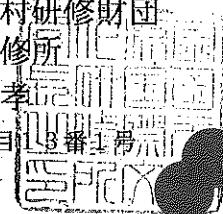
全国研第579号
令和元年12月20日

三重県 伊賀市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

学長 藤原 通孝

滋賀県大津市唐崎二丁目1番1号



研修受講の決定について

先にお申し込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続き等についてよろしくお願ひします。

氏名	赤堀 久実
コース名	令和元年度第3回市町村議会議員特別セミナー
研修期間	令和2年1月27日(月) ~ 1月28日(火)

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただきます、別途請求書は発行しません。

(1) 納入金額：6,650円 <内訳> 研修費(@1,200) 2,400円
食費 2,000円
研修生活動費 2,250円

(2) 指定期間：令和2年1月16日(木) ~ 1月22日(水)

(3) 指定口座：滋賀銀行 唐崎支店 普通 No. [REDACTED]
みずほ銀行 大津支店 普通 No. [REDACTED]
名義人：ザイセンコクジョウリクカクサイイタン
ゼンコクジョウリクカクサイイタンカクシヨ
(公財)全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

注1) 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。
注2) 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。

- 2 受講者に対する連絡指導について
同封した以下の書類を受講者に渡していただき、受講者が必要な事前の準備を整えたうえで、所定の日時（令和2年1月27日 11:00～12:00）に研修所に入所するよう指導してください。
 - ・受講にあたっての留意事項（受講者用）
 - ・時間割
 - ・JR湖西線時刻表／研修所周辺地図
- 3 受講者を研修に専念させることについて
研修期間中は、研修に専念していただくため、緊急の場合を除き、職務の都合により途中退所や一時帰庁するのはもちろんのこと、職務関連の電話連絡を受けることのないよう、事前準備についてお伝えください。
- 4 研修所への利用交通機関について
研修所は、JR湖西線・唐崎駅より徒歩3分です。唐崎駅には快速・新快速列車は停車しませんので、ご注意ください。
所内の駐車スペースには限りがありますので、来所の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、研修期間中は、休日を除いて車での外出はできません。
- 5 最終日の宿泊について
最終日の宿泊はできませんので、当日帰れない場合は、別途宿泊場所の確保及び手当の支給等の用意をお願いします。
最終日の研修終了時刻は、12:30頃です。なお、最終日の昼食は研修経費に含まれておりません。
- 6 受講申込みの取消等について
この受講決定通知受領後の受講申込みの取消（受講辞退）は、原則として認めません。疾病その他真に止むを得ない事由により、受講が困難となった場合や受講者を変更しなければならないこととなった場合には、直ちにその旨を当研修所（教務部）に連絡してください。
なお、受講辞退となった場合であっても、ご負担いただく経費（手配済物品の費用等）が発生することがありますので、ご了承ください。
- 7 途中退所について
研修期間中、受講者に、他の受講者等に著しく迷惑を及ぼす行為、研修所の規律を乱す行為その他公務員としてふさわしくない行為が認められる場合は、貴職に通知したうえで、退所を命ずることがあります。
- 8 インフルエンザ等への対応について
当研修所では、集団研修を実施している組織として、感染症等の予防の徹底等に努めているところですが、受講者の安全性の確保が必要ですので、これらに該当する方の受講をご遠慮いただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 9 問い合わせ先
全国市町村国際文化研修所（JIAM）
【研修に関すること】 教務部 TEL 077-578-5932 担当：■■■■ ■■■■
【経費納入に関すること】 経理課 TEL 077-578-5931

令和元年度「第3回市町村議会議員特別セミナー」

(敬称略)

月日	曜日	1時限 (9:25-10:35)	2時限 (10:50-12:00)	3時限 (13:00-14:10)	4時限 (14:25-15:35)	5時限 (15:50-17:00)	課外 (17:00-)
1/27	月		11:00-12:00 受付 11:00- 昼食 13:00- 開講式 日程説明	【講義】 (13:10-14:40) 社会福祉と財政システム 京都大学大学院 経済学研究科 /地球環境学 堂 教授 諸富 徹 【講堂】	【講義】 (15:05-16:35) 超高齢社会の現状と 地域包括ケアシステムに よるまちづくり 東京大学高齢社会 総合研究機構 特任教授 辻 哲夫 【講堂】	16:35- 入寮 オリエンテーション 17:30- 交流会	
1/28	火	【講義】 (9:00-10:30) 児童福祉の現状と課題 関西大学人間健康学部 人間健康学科 教授 山縣 文治 【講堂】	【講義】 (10:50-12:20) 障がい者の就労と 暮らしの支援について 東近江圏域働き・暮らし 応援センター “Tekito-” センター長 野々村 光子 【講堂】	12:20-12:30 閉講・事務連絡 【講堂】			

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

(令和元年12月20日現在)

名札の色： 色、研修担当：

令和元(2019)年度

第3回 市町村議会議員特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、地方議会の議員には、様々な行政課題について学び、施策を提案していくことが求められています。

今回の研修では、「福祉」という共通テーマのもと、各分野でご活躍の著名な先生方よりご講演いただき、今後のわかまの未来と地方議員に求められる役割について多角的に考えていきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

令和2年
1月27日(月)

社会福祉と財政システム

京都大学大学院経済学研究科/地球環境学堂 教授 諸富 徹氏

超高齢社会の現状と地域包括ケアシステムによるまちづくり

東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 辻 哲夫氏

令和2年
1月28日(火)

子ども家庭福祉の現状と課題

関西大学人間健康学部人間健康学科 教授 山縣 文治氏

障がい者の就労と暮らしの支援について

東近江圏域働き・暮らし応援センター「Tekito」センター長 野々村 光子氏

開催要領

日程 令和2(2020)年1月27日(月)～1月28日(火) (2日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 市区町村議会議員の皆さま

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数 200人 募集人数を大幅に上回るお申し込みをいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 6,650円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 令和元年12月10日(火)まで

申込方法 議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申込ください。
※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和2年

1月

27日(月)

- 11:00～ 入寮受付・昼食
- 13:00～ 開講式・日程説明
- 13:15～14:45 **社会福祉と財政システム**
 京都大学大学院経済学研究科/地球環境学堂 教授 諸富 徹氏
- 15:05～16:35 **超高齢社会の現状と地域包括ケアシステムによるまちづくり**
 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 辻 哲夫氏
- 17:30～ 交流会 ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和2年

1月

28日(火)

- 9:00～10:30 **子ども家庭福祉の現状と課題**
 関西大学人間健康学部人間健康学科 教授 山縣 文治氏
- 10:50～12:20 **障がい者の就労と暮らしの支援について**
 東近江圏域働き・暮らし応援センター“Tekito-” センター長 野々村 光子氏
- 12:20～12:30 閉講・事務連絡

講師紹介

京都大学大学院経済学研究科/地球環境学堂 教授 諸富 徹氏

1993年同志社大学経済学部卒業。1998年京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。1998年横浜国立大学経済学部助教授、2002年同大学院経済学研究科助教授、2006年同公共政策大学院助教授、2008年同大学院経済学研究科准教授。2010年より現職。この間、内閣府経済社会総合研究所客員主任研究官、ミシガン大学客員研究員を歴任。

経済産業省「総合資源エネルギー調査会」臨時委員、環境省「中央環境審議会合同部会地球温暖化対策税制専門委員会」、東京都「税制調査会」等の委員を務める。

東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 辻 哲夫氏

1971年 東京大学法学部卒業後、厚生省(現 厚生労働省)入省。

老人福祉課長、国民健康保険課長、大臣官房審議官(医療保険、健康政策担当)、官房長、保険局長、厚生労働事務次官等を経て、2009年東京大学高齢社会総合研究機構教授、2011年同機構特任教授、現在に至る。

厚生労働省在任中には、医療制度改革などに携わる。

関西大学人間健康学部人間健康学科 教授 山縣 文治氏

大阪市立大学卒業後、同大学院に進学しつつ、児童養護施設の指導員を務める。

日本子ども家庭福祉学会会長、社会福祉学会理事などの学会活動のほか、厚生労働省「今後の児童家庭相談体制のあり方に関する研究会」座長、社会保障審議会臨時委員、大阪市の行動計画策定委員長など、子ども家庭福祉行政などでも活動。2004年には、子育て支援の拠点「みなくるハウス」を設置し、地域活動も手がけている。

1982年大阪市立大学生生活科学部助手、1991年同講師、1994年同助教授、2003年同教授、2010年より現職。

東近江圏域働き・暮らし応援センター“Tekito-” センター長 野々村 光子氏

滋賀県竜王町出身。精神保健福祉士。2015年ふるさとづくり大賞個人表彰(総務大臣賞)受賞。

“Tekito-”では、480社に及び企業・事業所と連携し、障がいのある人やひきこもりの人の就労と生活の支援を行う。市民活動が活発な東近江の地域特性を活かし、さまざまな企業・事務所・市民活動と出会う機会を創出。

これらを通じて、障がい分野以外の地域課題にも取り組んでいる。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

令和2年1月27日(月)
3時限 諸富氏



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

令和元年度市町村長・議員等研修「第3回市町村議会議員特別セミナー」

社会福祉と財政システム

令和2年1月27日(月)

13:10～14:40

全国市町村国際文化研究所(JIAM)

諸富 徹(京都大学)

児童福祉の現状と課題

関西大学 山縣文治

1. 子育て施策をめぐる環境

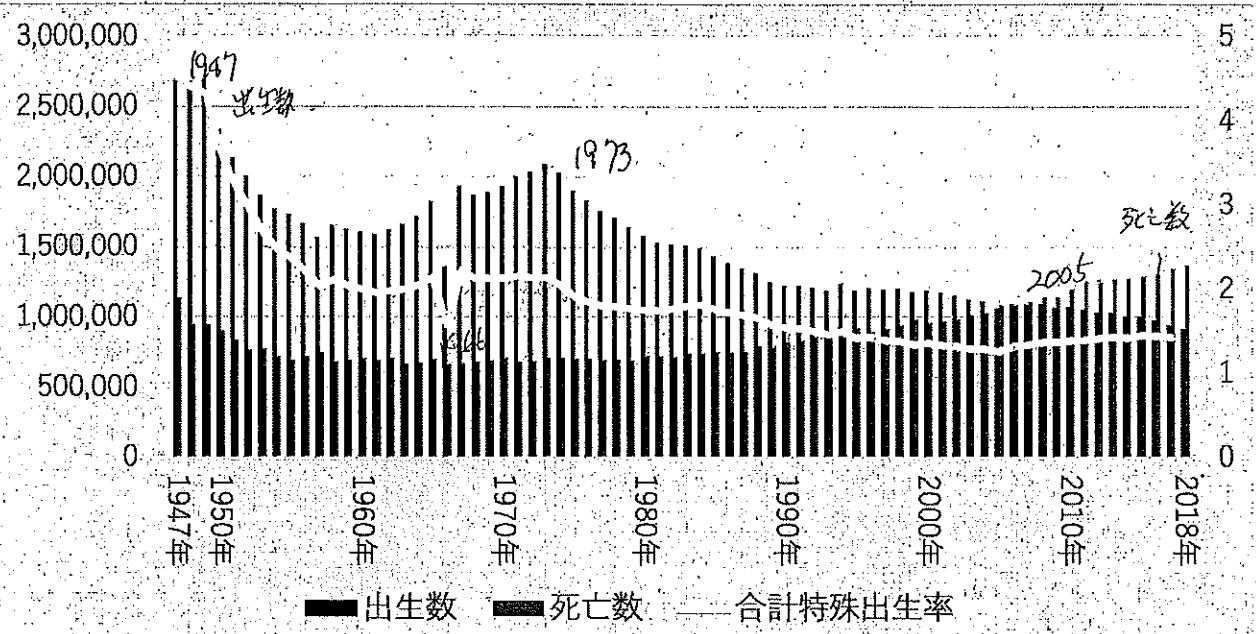
1) 2040年市町村はどうなっているか

仕事が無くなる人は生活できない。何を残して行く。(原案やちのみち自治体)

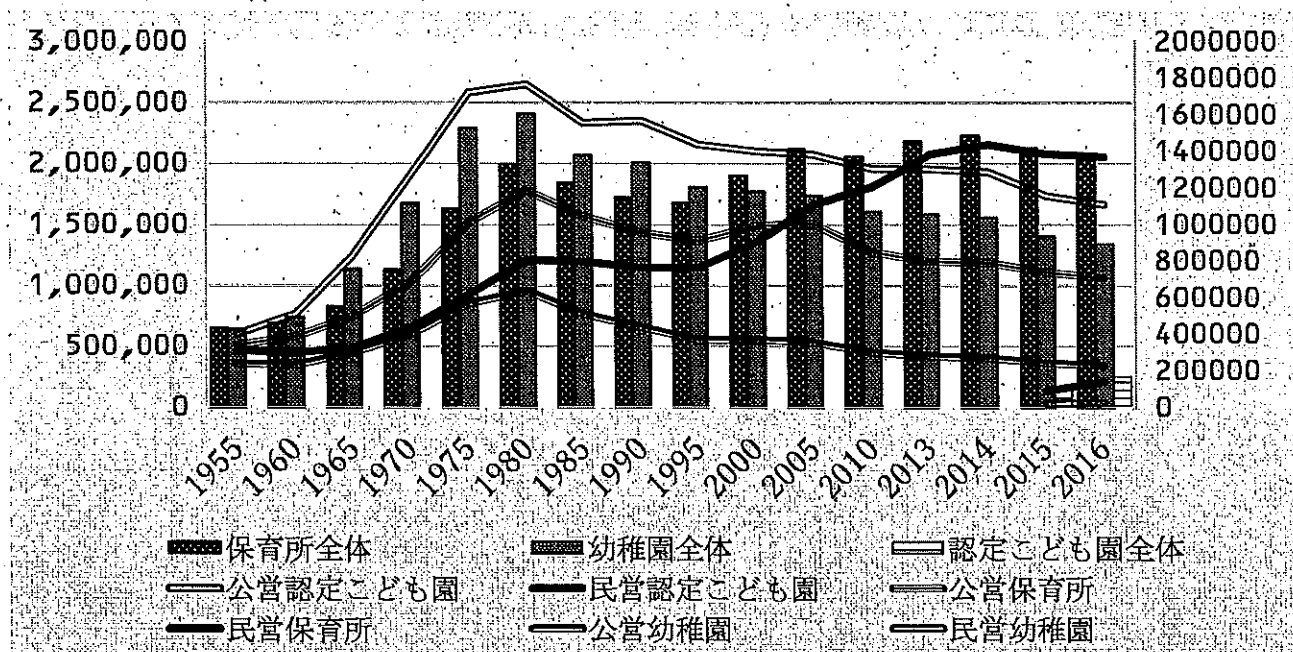
消滅可能性都市と限界集落の差は何か

20代女性のハナハチ町男性が望んでいない

2) 人口はどこまで維持できるのか 2次ベビーブームはもう自治体は。仕事は元とほぼれた



3) 保育所・幼稚園はどうなってきたのか 保育士の引き抜き合戦にひびいている。在宅で7,8歳までの施策



幼稚園は社会情勢に合わせて
幼稚園が認定こども園にはなると思っていたが現状は保育園がほとん
就学前の教育は保育園がほとん
所 所



伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様		報告者	議員名 赤堀 久実
研修会名	第24回アメニティーフォーラム		
日時	令和 2年 2月 7日 12時00分 ~ 2月 9日 12時45分		
場所	びわ湖大津プリンスホテル		
【研修の成果】 【生きることが光になる～ピアサポーターの世界～】日本メソッドヘルスケア専門員 内布氏 ピアサポーターの役割とは①ピアケースワーク…個別支援(自分の経験を直接話す) ②ピアグループワーク…自分達が自分達のことを語り合う③ピアコミュニティワーク…地域に発信、発言していく④ピアソーシャルワーク…社会を変えていく(障がい者の生きづらさを当事者も入って変えていく)☆今後、様々なサポートで当事者がピアサポーターとして参画していく社会を目指す。 【社会福祉の財源をどこから調達するのか?】鈴木俊彦氏・横倉義武氏・野澤和弘氏 ・2040年お金の問題より人の問題、働く人社会に参加する人を増やしていく⇒社会保障安定健康寿命を伸ばす。人が足りないのでAIを使用する。(例)生体モニター活用で看護師は必要な時だけ行く。市民が医療の適切な使い方を考えていかないと⇒医療を守ることが大事 ・75歳以上、資産や所得が高い人に医療負担率を上げるなど一定ではなく個々で考える。 ・財を社会にどう貢献するか未来のために使ってもえるようにする⇒社会貢献税 ・成年後見人をつけるとお金が自由に使えなくなるもっと使えるような仕組みが大事では。 【明石市子ども支援の取組について】明石市長 泉 房穂氏 『こどもを核としたまちづくり』やさしい町が強い町(町のみinnで助け合い子供を育てる) ①すべてのこどもたちを誰一人として見捨てない②まちのみinnで行政も地域も一緒に③子ども目線でその子に寄り添う④本気で応援、あれもこれも本気で①所得制限なし②おむつ無料配布③子ども食堂48ヶ所④母子手帳発行時1時間の面談 ・2019年4月市の児童相談所を開設(全室個室)相談から家庭復帰後支援まで一貫した支援 1. こどもを核としたまちづくり⇒みinnで応援すればまちは発展する。 2. こどもの予算126億⇒倍の244億円・・・人件費と公共事業を半分に 3. こども部門職員数39人⇒3倍増の126人 4. 組織として質の向上⇒常勤の弁護士職員10名(専門職の活用) 【まとめ】今まで障がい者の方々が社会に合わず(雇用も含め)ようにとの取組が多かったがそうではなく、社会がもっと理解をして協働していくまちづくりが大切だと実感。そして、どういう所にお金を使っていくか。何十年後のことを考えた使い道が大事だと思いました。			
費用	旅費: 3,893円 研修参加費: 20,000円 合計: 23,893円		

旅 程 明 細 書

No.

旅行者	所属	伊賀市議会	氏名	赤堀 久実
用務名(目的・場所)		アメニティーフォーラム24 (滋賀県大津市:びわ湖大津プリンスホテル)		
用務従事期間 (時間)	従事 月日	2月 7日	従事 時間	12:00 ~ 23:15
		2月 8日		8:15 ~ 24:00
		2月 9日		8:30 ~ 12:45

出張 月日	出発地 (出発箇所)	交通 用具	到着地 (到着箇所)	鉄道賃・船賃・航空賃・車賃			小 計	日 当	宿泊料	夕食代	朝食代		
				路程	運 賃	急行料金							
				km	円	円	円	円	円	円	円		
2月7日	自宅	自家用車	びわ湖大津プリンスホテル	53.4	393		393	1,500	10,500	1,700	込		
2月8日										1,500	14,800		込
2月9日	びわ湖大津プリンスホテル	自家用車	自宅	53.4						1,500			
計							円 393	円 4,500	円 25,300	円 1,700	円		
							合計	31,893					

※ 2月7日の宿泊料10,500円には夕食代が含まれていない為、夕食代(1,700円)を加算し、請求する。
 ※ 2月8日の宿泊料は18,500円であるが、上限額14,800のみ請求する。

領収書等添付用紙	議員名	赤堀 久実
調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)		

領収証

赤堀 久実 様

¥ 49,000 -

但し、アメニティーフォーラム24 として

2020年(令和2年) 2月 7 日 上記正に領収しました。

アメニティーフォーラム実行委員会
 実行委員長 田中 正博
 〒520-3202 滋賀県湖南市西峰町1-1
 TEL:0748-75-8210 FAX:0748-75-8270

研修参加費	20,000円	} 49,000円
宿泊費(2月7日)	10,500円	
宿泊費(2月8日)	18,500円	

**アメニティーフォーラム24
申込内容確認書 兼 請求書**

FAX 0595-51-4810

2020年1月27日 受付

(変更)

赤堀 久実 様

この度は、アメニティーフォーラムへの参加申込を頂きまして、誠にありがとうございます。
下記の内容にてお申込みを受付いたしました。
内容・費用をご確認のうえ、本状到着後7日を目安に下記口座にお振込み頂きますようお願い申し上げます。なお、内容に間違いや変更がある場合には下記までご連絡下さい。

■申込内容

受講番号 (お問合せ番号)	お名前	2/7(金) 交流会	2/8(土) 昼食 夕食	宿泊	備考
98	赤堀 久実 様	×	×	×	2/7(金)- 2名1室利用 B 2/8(土)- 1名1室利用 B 禁煙 1月27日付 2月7日宿泊の変更を受け付けました。

■費用について

※宿泊費は、のべ泊数で計算をしております。

参加費	¥20,000 × 1 名 =	¥20,000	
宿泊費	1名1室利用A	¥19,500 × 泊 =	
	1名1室利用B	¥18,500 × 1 泊 =	¥18,500
	2名1室利用A	¥11,500 × 泊 =	
	2名1室利用B	¥10,500 × 1 泊 =	¥10,500
	3名洋室利用	¥8,500 × 泊 =	
	4名洋室利用	¥8,000 × 泊 =	
	4名和洋室利用	¥9,000 × 泊 =	
2/7(金) 交流会	¥10,000 × 名 =		
2/8(土) 昼食代	¥2,500 × 名 =		
2/8(土) 夕食代	¥3,500 × 名 =		
費用合計		¥49,000	

■お振込み先

かんさい ころせい
関西みらい銀行 甲西支店 普通 XXXXXXXXXX
アメニティーフォーラム実行委員会
うしたに まさと
事務局長 牛谷 正人

お振込の際は、受講番号(お問合せ番号) 98 からご入力下さい。
所属団体名でお振込される場合は、(福)とするなど、出来るだけ省略くださいますようお願い致します。
領収書は原則として発行いたしません。銀行等の振込
明細書をもって領収書に替えさせていただきます。
※なお、振込手数料はご負担いただきますようお願い申し上げます。

■お問合せ先

アメニティーフォーラム実行委員会事務局
〒520-3202 滋賀県湖南市西峰町1-1
TEL 0748-75-8210 FAX 0748-75-8270
担当 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX

■プログラムの最新情報について

※プログラムの最新情報を、下記でご案内しております。どうぞご利用ください。

<http://amenity-forum-shiga.blogspot.jp/>
アメニティーフォーラム 特設ブログ

※ 1月27日TELにて 赤堀様との相部屋を受け付けました。12月18日付にて既に納入いただいております。ご返金(¥8,000)が発生いたします。別紙にお目通しください。事務局: XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX

令和2年1月29日

伊賀市議会議員 様

議員名

(自家用車提供者) 赤堀 久実

政務活動費自家用車使用届 (車賃計算書)

下記のとおり、調査研究等のため自家用車を使用しますので届け出ます。

調査年月日	令和2年2月7日(金)～2月9日(日)		
目的地 (調査研究等場所)	びわ湖大津プリンスホテル		
調査研究等の内容	アメニティーフォーラム24		
自家用車使用経路	出発地	自宅	
	到着地	滋賀県大津市	
自家用車を使用する理由	所要時間が短縮でき、効率的かつ経済的である。		
同乗者			
自家用車の車種	トヨタ プリウス	高速・有料 道路利用	有・ <input type="checkbox"/> 無
型式	DAA-ZVW51	有料駐車場 利用	有・ <input type="checkbox"/> 無

以下、事務局記入欄

自家用車使用経路 (出発地～到着地)	走行距離 (km)	燃費値 (km/L)	自動車燃料 単価 (円)	ガソリン代 (円)
	A	B	C	$A \div B \times C$
自宅(希望ヶ丘東)～びわ湖 大津プリンスホテル(往復)	106	37.2	138	393
～				
～				
合 計				393 円

(算出根拠)

※走行距離は、ルート検索ソフト等の地図上で計測する。(km未満は切り捨て)

※燃費値は、国土交通省が公開する「自動車の燃費性能に関する公表」による。

※自動車燃料単価は、出発日の属する月の市の契約単価による。

◆事務局使用欄◆

受付入力

入金確認

返信・発送

変更受付 ①

②

名札作成

手話通訳 要約筆記 単イスの利用 その他

手話通訳 要約筆記 単イスの利用 その他

ふりがな あつた いざしかりかい い賀市議会

所属先名 伊賀市議会

電話 (0595-51-4810)

FAX (0595-51-4810)

〒(519) 三重県伊賀市赤堀久実 5-3-14

希望ヶ丘東

〒519-1422 伊賀市赤堀久実 3-14

希望ヶ丘東 5-3-14

※どちらかに○を (自筆・職場)

参加者氏名

ふりがな	しが	たるう	交流会・食事の申込み		
滋賀 太郎	2月7日(金)	2月8日(土)	2月7日(金)	2月8日(土)	2月9日(日)
	大交流会 10,000円	昼食 2,500円	夕食 3,500円	A1~A3 B1~B5 C1~C3 D1~D3 E1~E3 F1~F3	
	○か×	○か×	○か×	A1 B2 C2 D3 E2 F3	
あつた	2月7日(金)	2月8日(土)	2月7日(金)	2月8日(土)	2月9日(日)
	大交流会 10,000円	昼食 2,500円	夕食 3,500円	A1~A3 B1~B5 C1~C3 D1~D3 E1~E3 F1~F3	
	○か×	○か×	○か×	A3 B3 C1 D1 E1 F3	

参加者氏名

ふりがな	しが	たるう	交流会・食事の申込み		
あつた	2月7日(金)	2月8日(土)	2月7日(金)	2月8日(土)	2月9日(日)
	大交流会 10,000円	昼食 2,500円	夕食 3,500円	A1~A3 B1~B5 C1~C3 D1~D3 E1~E3 F1~F3	
	○か×	○か×	○か×	A1 B2 C2 D3 E2 F3	

宿泊日 前泊：2月6日(木) 第1日目：2月7日(金) 第2日目：2月8日(土)

部屋タイプ 2B (津市議会)

同室希望者 安積むつみ様

禁煙 喫煙 なし

※同室希望者あり・なし

※同室希望者あり・なし

※同室希望者あり・なし

※同室希望者あり・なし

※同室希望者あり・なし

※同室希望者あり・なし

※同室希望者あり・なし

※同室希望者あり・なし

※同室希望者あり・なし

※同室希望者あり・なし

※この用紙で、2名様まで申込可能です。3名様以上の場合は、お手数ですがコピーにてご対応をお願いいたします。

12:00 ごあいさつ 田中正博 (フメニティブフォーラム実行委員会代表) 大原裕介 (全国地域生活支援ネットワーク代表) 北岡賢剛 (全国地域生活支援ネットワーク代表) 尾上浩二 (DPH日本会副会長) 玉木幸則 (NHKエデュパバラコメンテーター)
12:15 オープニングトーク 映画「閉鎖病棟—それぞれの朝—」の平山秀幸監督をお迎えして 司会手: 山上徹二郎 (VIVAフリー映画祭2020プロデューサー)

13:50 命が大切であること、を言い切る ~生産性よりも必要性!~ 辻哲夫 (水戸一橋記念財団理事長) 笠原吉孝 (水戸一橋記念財団理事) 潮谷義子 (社協) 杉岡理恵 (社協) 進行: 奥田知志 (特非) 池田理恵 (水戸)

14:50 このフォーラムに集う人達へのメッセージ ~荒野を目指そう、僕はその先で待つ~ 野澤和弘 (毎日新聞委員編集委員)
15:00 分身ロボット「OriHime」の衝撃 ~寝たきりの障害者が、介護や接客をする未来~ 15:00 末安民生プレゼンツ! こころのセッション 会場を育むためのリフレクティング ~対話を阻んでいる関係性に気づく~ 矢原隆行 (熊本大学法政学部教授) 司会手: 末安民生 (熊本県立大学看護学部臨床応用ケア講師)

16:15 服役11回・刑務所に半世紀の男性、生き直しを支えるもの ~刑務所にしか居場所がない人がいます~ 16:50 1.名古屋にエレベーターを建設すべきです。2.障がい者の「が」の字を漢字の「害」に変えるべきだと思います。 尾上浩二 (DPH日本会副会長) 平下新三 (自立生活指導センター代表) 玉木幸則 (NHKエデュパバラコメンテーター) コメンテーター: 宮崎拓馬 (東京府職員) 進行: 光寛功史 (高知県立大学教員)

17:25 福田九右衛門 奥田知志 (特非) 池田理恵 (水戸) 進行: 田島良昭 (社協) 高松聖典 (水戸)
17:35 医療的ケアを必要とする人への支援の最前線 17:45 「多様性」の次のステージへ ~「パリラ」を振り返りながら議論する~ 玉木幸則 (NHKエデュパバラコメンテーター) 森下光幸 (NHKエデュパバラコメンテーター) 古川原 (福岡県職員) 進行: アサダワタル (文化活動家、(社)福祉文化アートディレクター)

18:50 チェックインなど 19:00 大交流会 21:00 22:00 23:00

21:00 厚生労働省障害保健福祉部長: 橋本泰宏さんに聞く 私たちが気になっている あのこ、このこと 21:00 「地域共生社会」の実現に向けて 演劇 21:00 22:00 23:00

22:10 久保厚子 (全日本ろうきん連合会代表) 片岡保志 (特非) 日本高次脳機能障害者の会代表) 末安民生 (熊本県立大学看護学部臨床応用ケア講師) 水流源彦 (熊本県立大学教員) 佐田泰久 (全国地域生活支援ネットワーク代表)

22:10 障害者虐待をした施設を裁くだけで、解決になるのか? シンポジウム 伊原和人 (厚生労働省政策評価官(総合政策担当)) 尾上浩二 (DPH日本会副会長) 大原裕介 (全国地域生活支援ネットワーク代表) 福岡たかまる (参議院議員) たなかみ宏文 (参議院議員) 進行: 田中正博 (全日本ろうきん連合会代表)

23:25 林晃弘 (札幌フラット理事長) 片桐公彦 (厚生労働省障害福祉部施設予防専門官) コメンテーター: 中根原浩 (元参議院議員) 進行: 曾根直樹 (日本社会事業大学専門職大学院准教授)

23:15 23:15 24:00 24:00 24:00

7:00 国会議員との朝食会(1) (先着50名) ~政治に対する希望と意見を言おう!~ ... 演壇でも何でも、遠慮なく喋ってみよう... ※責任は実行委員会がとります。 8:00 モデレーター: 野澤和弘 (毎日新聞委員編集委員) 山上徹二郎 (VIVAフリー映画祭プロデューサー) 水流源彦 (全国地域生活支援ネットワーク)

8:15 地域生活支援にまじりに取り組んでいたら... 経営が苦しくなりました! 8:30 「老いをスラしてヒラく場づくり」~演劇編、メディアづくりを斬る~ 8:30 生きていることが光になる~ピアサポートの世界~

9:40 若草プロジェクトのその後 ~SOSを心に抱えた少女や若い女性たちに寄り添う~ 10:00 人生のしまい方、日々のえらび方 ~人生会議と障害のある人の意思決定支援~

10:30 全世代型の社会保障のあり方 ~その財源はどこから調達するのか~ 11:45 矢部美代子 (特別支援老人ホームふくらむ事務長(生活相談員)) 金森楊子 (特別支援老人ホームふくらむ看護士) 清水明彦 (西宮市社会福祉協議会事務長) 助言者: 蒲原基道 (厚生労働省障害政策官) 進行: 曾根直樹 (日本社会事業大学専門職大学院准教授)

12:45 昼食・休憩

13:30 人の暮らしは住まいから 村木厚子 (津田塾大学客員教授)

14:50 アール・ブリュット、クリエーション、日本 ~障害者の芸術文化振興議員連盟と知事連盟の皆さんにもご参加を頂いて~ 15:00 第2部 衛藤康一 (一般社団法人衛藤康一) 古川康 (衆議院議員) 三日月大造 (遊芸家) 平井伸治 (鳥取県知事) 進行: 大原裕介 (全国地域生活支援ネットワーク代表)

15:00 張り切って参りましょう! 作る法律、見直す法律 15:00 女性が輝く? 女性活躍? ちょっとだけ喋ります、私たち ~どなたでも安心してお聞きいただけます~ 榎井(藤井) 龍子 (東京都立大学教員) 岡山慶子 (前国司公認会計士) 進行: 田端一恵 (文化活動家)

16:00 この国の未来がなくなる? 子どもの支援を本気で考えよう 16:00 よくぞ立ち上げてくれました! 「全国居住支援法人協議会」 シンポジウム① 解決を求めない伴走型支援の充実を 奥田知志 (特非) 池田理恵 (水戸) 野崎伸一 (厚生労働省大臣官房総務課課長補佐) 藤森亮彦 (日本福祉大学福祉学部教授)

18:20 これからの障害当事者スタイル ~運動だけではない、発信の可能性~ 19:00 シンポジウム② 居住支援とは何か ~「人が家に住む」をもう一度考える~ 大月敏雄 (東京大学大学院工学系研究科建築学教授) 奥田知志 (特非) 池田理恵 (水戸) 村木厚子 (津田塾大学客員教授) 進行: 高原伸幸 (厚生労働省中国四国厚生局)

19:30 私たちは「C型就労」を進めます! 20:30 精神科医療の使い方: お互いがWin-Winになるために ~家族・支援員・PSW・医師の立場から~ 小島幸子 (熊本県をつなぐ育成会代表) 伊藤未知代 (滋賀県総合医療センター代表) 名雪和美 (厚生労働省障害政策官) 7/5/4/3 蒲原基道 (厚生労働省障害政策官) 新田島光浩 (高松市立総合医療センター) 22:15 自立生活援助の魅力を語る ~病院、施設やGHを出る事がゴールではなく、どう生きるかが重要~ 松村真実 (社) 南高松理恵代表) 有野哲章 (社) 協賛代表理事) 田村綾子 (熊本大学心理学部教授) 吉野智 (厚労省障害政策専門官) 進行: 岡部正文 (一社) ソラティオ代表理事)

21:00 21:45

7:00 国会議員との朝食会(2) (先着50名) ~政治に対する希望と意見を言おう!~ ... 演壇でも何でも、遠慮なく喋ってみよう... ※責任は実行委員会がとります。 8:00 モデレーター: 又村あおい (全国地域生活支援ネットワーク) 大原裕介 (全国地域生活支援ネットワーク代表) 福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)

8:30 世界の栄養課題の変わり目を日本がリード ~「障害と食」の研究がそれを実現する~ 8:30 地域共生社会に向け相談支援は包括的に 8:30 変わる精神科医療! 若き院長の挑戦。 親子2代で挑む地域に開かれた精神科病院 ~フットサルのごとも~ 児玉圭 (こども病院院長)

10:00 高次脳機能障害セッション 10:00 立ち止まって考えよう 認知症治療 ~ダウン症の方の急激進行のごとも~ 大石智 (北里大学医学部精神科講師)

11:20 若き院長の認知症病棟改革。 医者の大事な仕事は? 坂井善郎 (愛媛県立病院院長) 進行: 田島光浩 (社) 南高松理恵代表) 精神科医) アドバイザー: 土生栄二 (厚生労働省大臣官房長)

11:30 第24回アメニティブフォーラム最終講義 11:30 良い加減に生きられないあなたへ 北山修 (精神科医・作家)

12:45 21:45